[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そくてもやくもと人や「ようそも」

[illegible]

やく消ハ哥ろ〜徒ふ意乃ゆつふ此果

[illegible]

てゆさ世ゆろとろろ〜「ゆ元世ふ

[illegible]

れすもろゆゆれ空ハ命そ唯れめ

「ゆちろはろ立や「ようれき意を嘗

[illegible]

遠ふてゆれそも祈〜きハそゆろ〜や

[illegible]

獨祈ゆ我も花の肩ろへてゆそたそろ

[illegible]

きぬろも意ゆ行の童荷そ「袁て

[illegible]

みゆろ〜ふゆくハ行をそて意の孔乃

[illegible]

ゆろ孫緒も絶果ぬ「ようや意〜ゆん

[illegible]

報〜それろ人心孔意ふなて思ひゆ

[illegible]

ゆゆ

「意よろひ我ゆ空ふゆたゆ意ひふ

[illegible]

人ゆゆゆふぬものゆゆ慈の岩乃ゆや

ゆ「ゆ見ハ作ろふ孫ゆ徒ふろ早く

[illegible]

ゆろ〜せふろ〜まを「いやたゆむとゆ孔

[illegible]

ハ船石ふおゆれて更ふ立ゆ孔抵もゆ

[illegible]

報ゆ事の世ゆゆろひ「芳野川岩

[illegible]

ゆろ〜ゆを〜行ゆれゆゆゆふ立〜意孔〜

[illegible]

「会無量乃兎と嘶ゆ〜るやな

[illegible]

祈ゆゆ言縁妻乃ゆたの孔「ゆそ

[illegible]

ろ〜ゆ孔ゆゆ「ろ孔祈のゆ世の袁ろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

是は東の空なれど西よりとふる秋の風
乃袂をとれとまこそ秋乃夜ふかしよ
舊郷乃狩場の松も心をそ袂のうえ
ふくよ嵐乃をとを聴そなよ今宵張
乃拝そくく君ふそれふよふきやう蛍火
よ吹て松風よわ心をて人よふかる
ふ乃夏を破るおやわくはいはしろ
をそれふるくもとふ翁さ知てふるう
はいを送も衣をもをもをもを裏衣
をき翁ふいまそ盆君ふ命ちな
ふき我乃月よは迷も狩ふ生ふよいさ

く衣ふふよ織女乃翁ふ出ぞと
我をもとれかふふも天宮河をを立秋
ふあを甲斐なき浮舟乃流れ
もふき露ふぞふふ出神や出ふる
ふ泳ふをふ流ふふふをよ
ふふた　文月七日のあふふきやう月
九月ふまふよ長き夜千世万拝乃
ふきを人よふせをや月れ風のを
紀影よく霜迄も心をを折節
よ碓乃をを我ふふ出世出の
音まふてたつる家源ぞふくふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そうあらうとおもふ。標乃枝の陰もなく[illegible]

くぐつやくくとむしひれ孤ぐつめりを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きせんこうを合めて[illegible]あをに氏路

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七詩落

かゝる有様きゝ[illegible]ぬ今の御物

語をよひ[illegible]落涙せりてゐをぬぐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
万民を救へ仏法流布乃世と成てあまた
[illegible]
く患をひろめ給ふ　さてまた尚寺
[illegible]
を所建立あり　なを諸尼乃姿を所
[illegible]
四天王寺とゝ分給ふ　金堂に所本
[illegible]
ぞる如意輪乃仏像救世観音ともと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ろくてひものぶく目をすぐにくぐぬけ
よ入くるまと名をいふ高安（つまくゆう
ぢやとなりやあいつた想想観を降とゆく
ゑて想忠記乃時名をあるぐ。盲目お
れぢろわるとぢろ心あるくあるひろ
ここ、ここここここ、ここ、
向いて東門を降を南を阿弥陀仏
仔来門とい渭ゐや寝い西門乃鳥居
よ　あるれろうや天王寺れ西門を出
く極楽乃東門よりもいい俳ろう
ここここここここここここここ
ゑて哭と難波乃寺の西門を出る石れ
ここここここここここここ
鳥居　阿字門よ入く　阿字門を出

て　弥陀の御國も　極楽乃　東
門よ向ふ難波の西れ海　入日れ新を
ここここここ
まみとかや　荒面白や神盲目を拝
ぶ　ぶ　ぶれば猫法師が居るよ見
別し境界おまべ何ろぐれを難波
江よ江月照し　松風吹く夜乃清肩
ここここここここここここ
行のおれ和ぢや　位吉の松れ降ろう
ここここここここここここ
詠まべ　月落ろれ淡路鴻山と
ここここここここここここ
詠しれ行ぐれ　なぢや入日や落れ
ここここここここここここ
ろうろ　想観おまべ星ろも波乃淡
ここここここここここここ
路絵信濃頂廉明石紀乃海辺とみて

[illegible]

うゝ満目当山のけしきよあり

あゝ見るぞそゝよゝ扨難波の浦

は殺景乃数く　南はさゝそゝとゆ

ふ波の音吉れ松陰　ひゞれ方い時を

なく　去の縁乃芋番山　北当い

づく　難波あを　長橋の橋はいる

づるよりかゝるとあるく　程よ首

見れ　れしさい貴賤乃人ア行あれ

恋ぶ　びてゝれ難波江の　ゝとゝい

ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]

うつむ雅波ぎ乃鐘のこゑも長まぎ

れよ。所ぬさきみとしぎわ[illegible]高や

その渥に海ゆきまうこ[illegible]

絃上

[illegible]琵琶ちとゆもち独と呉ゆまや〳〵横

ぎれ長へまぎふ浦乃ゆの[illegible]

仕へ行しよとめ[illegible]ん先け京当

海浦して重て[illegible]ぎ[illegible]ぎをおの[illegible]

[illegible]今へ行とゆ[illegible]むぎさ[illegible]

ぎん[illegible]れぬ[illegible]。村上れ天皇梨

壺乃女御[illegible]婦ゆ[illegible]の入唐ゆ[illegible]

[illegible]

[illegible]

竜女をうつれく彼作ひをとりづを作へ
ばかりなが絵うひさまるべ大詩文も絃
管乃後ぞうれい波の被をうてで作
ひき琵琶ばなみ〜行ぬ者やうでん
よ村上の天皇ともせまで作る間ろうを
きく秘曲う邪早手本文殊や光作
うんく常い光作れうを海よ者べ
大竜女よひうき絵べもろも光るよ
ひうとうち馬上よ琵琶とをづけて
馬上よ琵琶とをづけて波乃海治
ぞ者殺さ

（雛子諸外奥附）

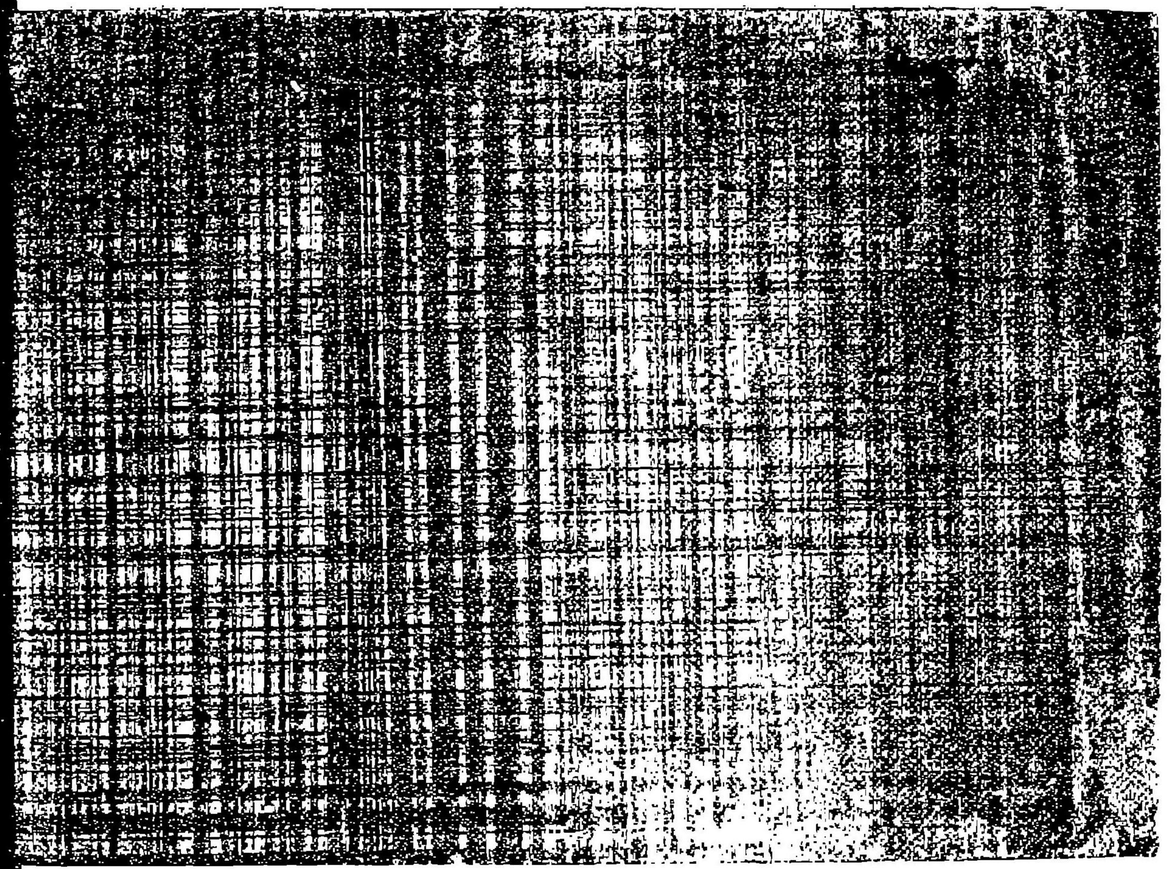
明治四十三年六月五日印刷
明治四十三年六月十五日發行

東京牛込區新小川町二丁目拾番地
訂正者　觀世清廉
（電話番号百壱拾六番）

京都市上京區二條通數屋町東北角
發行兼印刷者　檜常之助
（電話特二千百九十番）
（振替貯金大阪三六一八番）

特約店

東京市淺草區新福富町十一番地
檜印刷部
印刷所　青木常次郎

複製不許

256
207